

# 組織部速報

2023年2月7日  
No. 41

## 全国大会までの闘う方針を確立！

貨物労組は2月4日に、ホテル雅叙園東京で第35回定期中央委員会を開催しました。昨年と一昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大したため組合員の健康と安全を鑑み書面審議での開催でしたが、今回は3年ぶりの対面形式での開催となりました。

冒頭、高木委員長は挨拶で、春の闘いは4本柱で取り組んでいくことを述べ、北海道新幹線札幌延伸開業に伴う並行在来線問題、2023JR総連春闘、総団結方針貫徹、平和問題など取り組む課題を明確にしました。

質疑では15名の委員から発言があり、提起された方針に賛成する立場から定中方針が肉付けされ、全ての議案は満場一致で承認されました。

最後に高木委員長の団結ガンバローによって、中央委員会は成功裡に終了しました。



### スローガン

- 一. JR貨物改革完遂！ JR貨物の存立基盤を確立し、  
安全最優先の職場風土をつくろう！
- 一. 2023JR総連春闘勝利！ 職場から全組合員参加の運動をつくりだし、  
要求実現にむけて全力で闘おう！
- 一. 総団結方針貫徹！ さらなる組織強化と世代交代を意識し、  
求心力のあるJR貨物労組をめざそう！
- 一. 一切の戦争政策反対！ 平和で安心して暮らせる社会の実現をめざし、  
統一地方選の取り組みを強化しよう！